



発行
秦野市
農業協同組合
 (神奈川県)
 〒257-0015
 秦野市平沢477
 電話 0463(81)7711(代)
 発行責任者 小島 敏雄
 印刷所 (株)JA情報サービス

今月の特集
 4~5面

地域に根差す支所運営委
 JAはだのは、各支所に支所運営委員会を設置し、地域に根差した協同活動を推し進める。地域や協同組合の活性化に向け、特色ある活動を企画している。

メール情報配信サービス
資材や営農情報をお知らせ
 JAはだのは、Eメール行っています。資材や鉱油の価格変更、台風接近

時の営農情報など、さまざまな情報を発信しています。QRコードを読み取って空メールを送り、返信されたメールから登録フォームに接続できます。お問い合わせは組織教育課まで。081-7714



須藤副部長が丹精して育てた「シャインマスカット」

爽やかシャインたわわに

果樹部会ぶどう部の部長が、ブドウ「シャインマスカット」の出荷に励んでいる。黄色みを帯びるまで完熟させてから収穫するため、食味の良さは一級品だ。須藤政一副部長は、「シャインマスカット」の栽培を始めて7年目。今年は10月上旬までに500kgの収穫を見込んでいる。園で直売する他、じばさんずや特産センター・渋沢店に出荷する。須藤副部長は「輸送の必要がない直売の利点を生かし、完熟で販売している。食味が抜群に良いものができた」と笑顔を見せた。



今年度の「秋の座談会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催方法を変更し、組合員の意見・要望をメールで伝える。10月7日(金)まで、1856まで、たは本所・各支所・支店に直接提出してください。

JA事業にご意見を
 メールやFAX活用して



などについて、ご意見・ご要望のある方は、10月7日(金)までに左記のQRコードを読み取ってメールを送信するか、任意の紙に記入してファクス(841-1856)まで、たは本所・各支所・支店に直接提出してください。

落花生の掘り取り体験



落花生を収穫する受講者

JAはだのは6日、掘り取り体験者10人が「大倉掘り山下で第4回組合員基礎講座」を開催した。市内の観光農園で落花生の掘り取りを体験した。組合員基礎講座は、JAが1983年から取り組んでいる協同組合講座の中の一つ。准組合員とその家族を対象に、協同

地域の観光農業学ぶ
畑で組合員基礎講座

組合やJAの組織、事業への理解促進を目的に、全6回の講座を開催している。受講者は、職員から観光農業について説明を受けた。はだの都市農業支援センターが秦野の農業の魅力を多くの人に知ってもらうために、地元農家と連携してさまざまな収穫体験イベントを企画していることを学んだ。その後、農家から落花生の掘り取り方法などを教わりながら株を引き抜き、さやのもぎ取りも体験した。受講者は「実際に掘り取りを体験して、農作業の大変さや農作物を当たり前に食べられることへのありがたさを改めて感じた。今後も秦野の農業を応援していきたい」と話した。



トラックは走る広告塔

大きくじばさんずロゴ

JAはだのは、じばさんずトラックの活用を始めた。生産者が出荷した中

学校給食用の農産物などを運搬するもの。JA共済の「地域・農業活性化積立金」を使い、地域貢献活動の一環としてJAを広くPRしている。トラックは、曾屋の市学校給食センター「はだのっ子キッズ」への農産物の納品に使っている。市民の目につく機会が多いため、同店のロゴマークを大きく表示。市内を走る広告塔として活用する。文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

水稲適期に 収穫しよう

J A はだのは7日、鶴巻と東田原の水田で水稲収穫適期現地検討会を開いた。生産者37人が、収穫適期の判定方法や、収穫後の米の管理方法などを学んだ。

現地検討会で生産者に周知



水稲の適期収穫を呼びかけた検討会

県農業技術センターの職員が、県内での水稲の生育状況を説明し、平年通りの時期に収穫が見込めることを伝えた。出穂期以降の気温が高く、胴割れ粒や未熟粒の発生など、高温障害が懸念され

水分含有量を調べて適期に刈り取ることの重要性を学んだ。さらに、スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生地域では、個体数を減らすために秋と冬に耕うんするなど、地域ぐるみで対策する必要性を再確認した。

トマトの品種を学ぶ

施設部が栽培講習会 省エネ対策の確認も

やさい部施設部は8月30日、本所で栽培講習会を開いた。部員9人が、施設栽培トマトの主要な品種の特性や病害虫防除のポイントを学んだ他、燃油価格の高騰対策としてコストの抑制方法を確認した。

種苗会社の社員が、トマトの最新品種や有望品種を紹介し、品種の特徴や栽培管理のポイントを伝えた。

その後、県農業技術センターの職員が、ウイルス病対策について説明。ハウス内外を除草して環

定植期見極め大切 イチゴ花芽分化を調査

やさい部いちご部は7日、イチゴ苗の花芽分化を調査した。苗を定植する適期を見極めること



センター職員がイチゴ苗を調査

が目的。部員が持ち寄った「章姫」や「とちおとめ」の苗を、県農業技術センターの職員が調べ、定植時期を確認した。同部は、イチゴの需要が高まる12月からの出荷

を見据え、適期に苗を定植しようと毎年、花芽分化の状態から定植の適期を予測し、部員に植え付け時期の目安を伝え、定植時期を確認した。さらに、病害虫をハ

J A グリーンはだのは10月8日(土)~16日(日)、タマネギ栽培関連の資材キャンペーンを行います。農薬や肥料、マルチなどを特別価格で販売します。

タマネギ栽培関連 資材キャンペーン

10月8日(土)~16日(日)

すので、お得なこの機会にぜひご利用ください。お問い合わせはJ A グリーンはだのまで。☎81-7719



農薬や肥料などを特別価格で販売

J A グリーンは農家を応援します

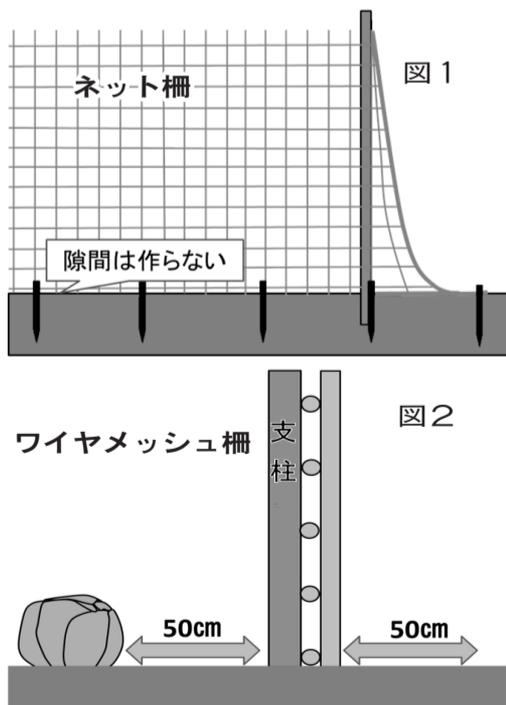
受賞おめでとう！
日頃の成果を發揮
第33回秦野市落花生立
毛共進会を8月23日と9
月13日に、市内圃場(ほ
じょう)と本所農業団地
センターで開いた。審査
の結果は次の通り。
▽優秀賞 山口美代
子・郷の香(堀山下) 諸
星一雄・郷の香(菖蒲)
▽優良賞 清水正夫・
郷の香(鶴巻南) 高橋仁
志・改良半立(下大槻)
▽優良賞 三武利夫・
郷の香(堀西) 今井洋司
・改良半立(横野) 町田
フチ・改良半立(東田原)
高橋仁志・郷の香(下大
槻)

営農技術 ヒント・ポイント
 かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (朝原・矢野・島田)
 農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333
 ・果樹花き課 果樹(笹屋)・作物加工課 作物(木村)
 花き (青木) 加工(中山)
 ・野菜課 (草野)



鳥獣害
イノシシ、鹿から畑を守る物理柵

イノシシや鹿が田畑に侵入すると、農作物が食べられる、農地が荒らされるなどの被害が発生します。今回は、そのよう



な被害から畑を守る方法の一つである物理柵を紹介し、ワイヤメッシュ柵、ネット柵、トタン柵などがあります。使用する資材は、設置した際の高さ、簡単に組み立てられるか、線が、イノシシ対策なら

な被害から畑を守る方法の一つである物理柵を紹介し、ワイヤメッシュ柵、ネット柵、トタン柵などがあります。使用する資材は、設置した際の高さ、簡単に組み立てられるか、線が、イノシシ対策なら

レシピ確認し作り方を統一

「ふるさと料理教室」指導者講習

大根・北・上支部 新たな部員の参加も

北支部は8月31日、上支部は8日、大根支部は13日に「ふるさと料理教室」の開催に向け、本所で同教室の指導者向けの講習会を実施した。部員29人が、レシピを確認し合いながら調理の指導方法を統一した。



講師から具材の包み方を教わる部員

うと、各支部で協力を呼びかけたところ、新たに3人が手を挙げた。部員は3種類の具材を使ったおやきの作り方を確認。講師から、生地のおよび具材の包み方、蒸し方などを細かく教わった。初めて参加した部員は「家でも作り方を練習して教室で分かち合いたく教えられようようにしたい」と話した。

創意の紙芝居披露

特産落花生を 紹介

女性部は4日、堀山下の畑で、紙芝居「ふしぎなうさぎ」を披露した。落花生の掘り取り体験を主催した生活協同組合を披露



パルシステム組合員に紙芝居を披露

女性部は、11月13日(月)～19日(水)に本所で「女性部バザー」を行います。使っていない日用品など、出支所・支店への持ち込み品でできるものがあります。◎持ち込みできるものから提供を
女性部バザー 出品を募集
◎持ち込みできないもの
古着、電源・電池を使用のもの、賞味期限が1ヵ月未満の食料品
お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

支部だより

東・北支部

支部旅行
東支部は8日、北支部は15日に山梨県を旅行した。部員同士の親睦を図り、今後の活動に組織力を発揮することが目的。部員31人が参加した。部員は「浅間園」でドウ狩りを体験した後、「山梨県立フラワーセンターハイジの村」で昼食バイキングを堪能した。「モンデ酒造」や「里の駅いちのみや」では、ワ

南支部

ヘチマ化粧水作り
南支部は8日、南支所へヘチマ水を使って化粧水を作った。ヘチマ水には皮膚細胞を活性化させ、肌に栄養と潤いを与えるさまざまな成分があるといわれていることから、多くの部員に人気がある。部員12人が参加した。部員は、各自自宅へチマから採取したヘチマ水を持参。ろ過してグリ

本町・西支部

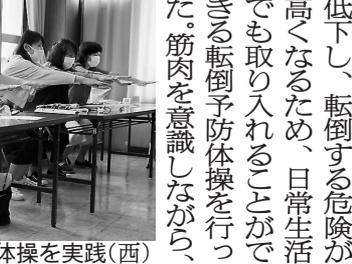
健康講話
本町支部と西支部は8日、各支所で健康講話を行った。両支部合わせて35人が参加し、講話と体操を通じて健康への意識を高めた。



ハイジの村を訪れた部員ら(東)



ヘチマ水をろ過する部員



骨盤などを鍛える体操を実践(西)

支部代表4人が体験発表

「第49回家の光大会」開催



体験発表した部員

同教室は、市内の幼稚園の保護者を対象に開催。同部が制作したレシピ本「伝えたいはだのふるさと料理」に掲載していることから参加者に作らせた。今年度はおやきとかりんとう、蒸しまんじゅうの中から参加者に作らせた。今年度はおやきとかりんとう、蒸しまんじゅうの中から参加者に作らせた。

生活や女性部活動の充実につながったことを発表。発表内容は(一社)家の光協会の職員らが審査。発表後の講評で、同協会東日本普及文化局長の北川司副局長が「どの体験発表も、楽しく前向きに取り組んでいることがよく伝わった」と話した。厳正な審査の結果、12月に横浜で開催される生活文化活動体験発表会の出場者に、本町支部の小島洋子さん(家の光記事)

「コール・ポエジー」
代表 三浦悦子
私たちは、目的別趣味グループの中で最初に結成し、今年で23年目を迎えたコールグループです。結成当時は童謡が中心でしたが、今ではポップスはもちろんさまざまなジャンルの曲に挑戦しています。

10月の女性部行事予定表

3日(月)	13:30	本部役員会
6日(木)	9:00	女性部運動会(雨天7日)
11日(火)	9:30	支部役員会(南・西)
//	13:30	支部役員会(大根・本町)
12日(水)	13:00	支部役員会(東)
//	13:30	支部役員会(北・上)
//	15:00	東支部「健康講話」
13日(木)	14:00	料理運営委員会
14日(金)	9:30	西支部「シトラスリボン配布」
//	9:30	大根支部「シトラスリボン配布と交流会」
19日(水)	10:00	J A はだの家の光クッキングフェスタ
23日(日)	10:00	フレッシュミズ講座
25日(火)	10:30	2022年度いきいきレディース交流会
27日(木)	13:00	第26回J A 女性組織フレッシュミズ全国交流集会(28日まで)
28日(金)	9:00	南支部「グラウンドゴルフ交流会」
31日(月)	9:30	料理運営委員会「青パイヤ料理コンクール」

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

膝や背を伸ばしたり、締めたりして鍛えた。西支部は、J A 神奈川県厚生連保健福祉センターの保健師から骨盤底筋に関する講話を聞いた。骨盤底筋が弱くなる原因や日常生活で気を付けることなどを学習。保健師に教わりながら、骨盤底筋を鍛える体操を実践した。コロナ禍で外出の機会が減っていることから、タオルを使ったストレッチにも挑戦した。

農業満喫CLUB

落花生は最盛 収穫体験を満喫



オーナー家族作業に汗 新鮮さが自慢

落花生農園オーナーは、オーナー家族が作業を収穫した。はだの都市農業支援センターが取り組む「はだの農業満喫CLUB」の企画の一つ。オーナーである参加者が自身の区画で落花生の種まきから収穫まで体験するもので、30組103人

落花生農園オーナーは、オーナー家族が作業を収穫した。はだの都市農業支援センターが取り組む「はだの農業満喫CLUB」の企画の一つ。オーナーである参加者が自身の区画で落花生の種まきから収穫まで体験するもので、30組103人



落花生のさやをもぎ取る参加者(本町)

収穫に手間がかかることが分かった。尾登委員長は「収穫の喜びや楽しさを大いに味わってほしい」と、参加者の収穫作業や高橋さんの指導に協力した。委員ら9人が、方法を取り入れ、6月を播種した。今後は、10月下旬に収穫を進め、委員が栽培管理を進め、10月下旬に収穫を予定している。

「落花生農園オーナー」は5月に種をまき、9月に収穫する。その間の栽培管理は地元農家が行うので、落花生の品質は高品質。うま味が豊富な落花生を収穫するため、人気を集める。

「落花生農園オーナー」は5月に種をまき、9月に収穫する。その間の栽培管理は地元農家が行うので、落花生の品質は高品質。うま味が豊富な落花生を収穫するため、人気を集める。



サツマイモを収穫する親子

はだの都市農業支援センターは10日、堀山下の体験をもちょうとした。はだの都市農業支援センターは10日、堀山下の体験をもちょうとした。はだの都市農業支援センターは10日、堀山下の体験をもちょうとした。

女性部が食口寄付

女性部は、フードドライブ(食品の寄付)の活動に力を入れている。持続可能な開発目標(SDGs)の一環で、2020年から毎年実施しているもの。今年度は毎語や菓子、米など255点121.74kgの食品が集まった。

特産品の魅力を身近に感じて

本町、南支所運営委員会、員らに落花生の収穫体験を10日、各地区の畑で組合してもらった。地域の農業

を身近に感じてもらうこと。加者合わせて50人に収穫方法を指導した他、地元の特産品の魅力を伝えた。本町支所運営委員会の体験には、上大槻の田中和幸さんが協力した。田中さんが品種や収穫方法について説明した他、尾登委員長が落花生の妻のなり方や名前の由来などを伝えた。その後、参加者は一人15株ずつ収穫。互いに協力しながら、さやを一つ一つもぎ取った。

支所運営委

J Aはだのは、各支所に支所運営委員会を設置し、地域に根差した協同活動を推進している。委員の組合員が中心となり、地域住民らに農業への理解を深めてもらう体験などを企画。地域や協同組合の活性化に向け、支所ごとに特色ある活動に取り組んでいる。

地域に根差して 協同活動さまざま

大根支所運営委員会は8月22日、大根支所で押し花のワークショップを開いた。組合員ら20人が、さまざまな種類の押し花を使ったアート作品を作った。参加者は押し花の魅力を学び、アート教室を開いた。組合員ら20人が、さまざまな種類の押し花を使ったアート作品を作った。



種まき作業に励む参加者

押し花アートで 親睦深めて好評

大根支所運営委員会は8月22日、大根支所で押し花のワークショップを開いた。組合員ら20人が、さまざまな種類の押し花を使ったアート作品を作った。参加者は押し花の魅力を学び、アート教室を開いた。組合員ら20人が、さまざまな種類の押し花を使ったアート作品を作った。

女性や若手も参加 管内の農業PRも

支所運営委員会は、支所を拠点とした組合員組織活動の活性化や、地域農業の振興などを目的に、2016年からスタートした。理事や生産組合長の他、女性部員、青年部員、准組合員らで構成。女性や若手など、さまざまな視点から魅力ある活動を企画する。

支所運営委員会	実施時期	内容
大根	10月	落花生・サツマイモ収穫体験
	12月	年末市で農産物販売
本町	10月	グラウンドゴルフ大会
	11~12月	フラワーアレンジメント教室
東	11月	歴史学習会
	11~12月	ミカン狩り
南	10月	サツマイモ配布イベント
	10月	フラワーアレンジメント教室
北	10月	サツマイモ配布イベント
	12~1月	花の寄せ植え体験
西	11~12月	農業学習会
	検討中	自然を訪ねる集い(ハイキング)
上	11月	上小学校サトイモ収穫体験
	12月	そば打ち教室

※実施時期や内容は変更になる場合があります。



押し花を配置する参加者

類の押し花を使えば、3種類のデザインから好みのサイズのアート作品を作ることができる。参加者は押し花の魅力を学び、アート教室を開いた。組合員ら20人が、さまざまな種類の押し花を使ったアート作品を作った。

法などを学んだ。インボイス制度は、売り手が買い手に対して正確な消費税率や消費税額などを伝えるためのもの。適格請求書等保存方式とも呼ばれる。経過措置が設けられているが、制度導入後は、登録番号

発見 博之さん



博之さん(52)は、博之さんの仕事で丁寧で手早い仕事を得意とする。博之さん(52)は、博之さんの仕事で丁寧で手早い仕事を得意とする。博之さん(52)は、博之さんの仕事で丁寧で手早い仕事を得意とする。



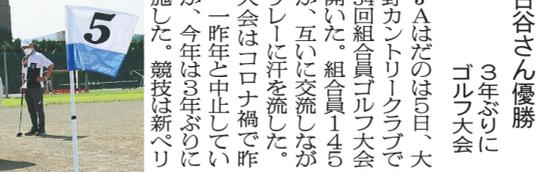
十五夜飾りを仕上げる栗原さん

じばさんず出荷者の栗原さんは、秋らしい花や農産物を使った飾りが多く、秋らしい花や農産物を使った飾りが多く、秋らしい花や農産物を使った飾りが多く。

インボイス制度について学んだ研修会。研修会では、登録番号や税率など必要事項が記載された適格請求書を作成し、消費税率の仕入税額控除が可能となる。平塚税務署の職員が、同制度の仕組みについて説明。適格請求書を作成することや、委託販売の特例などを解説した。

十五夜飾り華やか 直売所秋らしく彩る

じばさんず出荷者の栗原さんは、秋らしい花や農産物を使った飾りが多く、秋らしい花や農産物を使った飾りが多く、秋らしい花や農産物を使った飾りが多く。



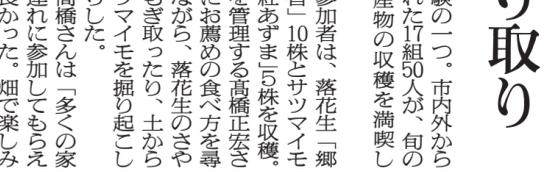
狙いを定めてプレーする参加者

古谷さん優勝。3年ぶりにゴルフ大会。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。



「名水はだの米」を手にする古谷さん

古谷さん優勝。3年ぶりにゴルフ大会。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。



「名水はだの米」を手にする古谷さん

古谷さん優勝。3年ぶりにゴルフ大会。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。古谷さんは、ゴルフ大会で優勝した。

告知板

じばさんず NEWS

【10月のイベント】

新型コロナウイルス感染症対策のため、入店の際はマスクの着用と手指の消毒をお願いします。

☆「ユースマルシェ」1日(土) 青年部の若手農家が、新鮮な野菜を対面販売します。

☆「豆腐の日」2日(日) 地元のお豆腐屋さんの商品を特別価格で販売します。

☆「旬の果物・野菜フェア」1日(土) 2日(日) 15日(土) 16日(日) 22日(土) 23日(日) 29日(土) 30日(日) 旬の果物や野菜にスポットを当て、店舗外の特設コーナーで販売します。

☆「おすすめ商品の特売」4日(火) 18日(火) 25日(火) 産地間提携を結ぶJAの商品など、お薦めの品を特別価格で販売します。

☆「新米フェア」8日(土)～10日(月) いよいよ今年の新米が登場。秦野産の「はるみ」をたくさんご用意します。

☆「豚肉加工商品の日」14日(金) ㈱フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。

☆「たまごの日」毎週月、金曜日

店頭価格から10%引き。「みくるべたまご」は除きます。

☆「米の日」毎週水曜日 店頭価格から10%引き。

☆「肉の日」毎週木曜日と29日(土) 店頭価格から5%引き。

◎10月11日(火)は定休日です。 ※感染症の影響により、試食イベントは休止しています。他のイベントも変更になることがありますので、ご了承ください。

今月の生産者



今泉の 小泉 征四郎さん

出荷品目 生落花生や小菊、イチジクなど年間20品目以上

20年前のじばさんずオープン時から出荷を続けています。生落花生は、ゆでて食べるのがお薦めの「郷の香」や「おおまさり」を出荷しています。小菊の出荷も始まりますので、ぜひ手に取ってみてください。

給油所	塗装工事	看板工事
大根支所	10月下旬～11月上旬	11月下旬
北支所	11月上旬～11月中旬	
西給油所	11月下旬～12月上旬	12月上旬
上支所	12月上旬～12月中旬	12月下旬
東給油所	12月中旬～12月下旬	

ガソリンスタンド塗り替え工事 10月下旬から12月下旬にかけて、各給油所の建物の塗り替えや看板の交換工事を行います。給油所ごとの予定は上表の通りで、工事期間中も通常通り営業します。利用者の方の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

換工事をいたします。給油所ごとの予定は上表の通りで、工事期間中も通常通り営業します。利用者の方の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

JAグリーンが価格を改定

世界情勢と急激な円安により、原料価格や輸送コストが大幅に上昇しているため、JAグリーンはだので販売しているマルチ・ビニール資材などの石油製品や農具などが

お問い合せは経済課まで。 ☎81-7717-8177

米穀の検査集荷 米穀の検査集荷を下表の通り実施します。持ち帰り検査を希望する方は、◎印の検査日(合計4回)をお願いします。10月20日(木)は持ち帰り検査のみの実施ですので、ぜひご利用ください。

検査予定日	検査場所	該当地域
9月28日(水)◎	大根支所	大根
9月29日(木)◎	大根支所	大根
10月4日(火)	鶴巻ライスセンター	鶴巻ライスセンター
10月6日(木)◎	本所	大根以外の全地域
10月11日(火)	大根支所	大根
10月12日(水)	鶴巻(臨時検査)	鶴巻
10月13日(木)	大根支所	大根
10月18日(火)	鶴巻ライスセンター	鶴巻ライスセンター
10月20日(木)◎	本所	全地域持ち帰り検査のみ
10月25日(火)	大根支所	大根
11月1日(火)	本所	大根以外の全地域

お問い合せは各支所・支店または企画課まで。 ☎72-7844

組合員囲碁将棋大会を開催 8月開催予定を延期した「第26回JAはだの組合員囲碁将棋大会」は11月に開催します。8月に申し込んだ方は、再申し込み不要です。 ◎日時 11月24日(木) 午前9時30分から ◎場所 本所3階 虹の間

農産加工品の相談を受け付け 農産加工品について、JAの職員が市内を巡回し、相談をお受けします。お気軽にご相談ください。

詐欺にご注意を 県内で、地方自治体や警察、銀行協会などを名乗ったキャッシュカード手交型詐欺が発生していますので、ご注意ください。

じばさんずのスタッフ募集 じばさんずは、パート・アルバイトスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。 ◎業務内容 レジおよび品出しなど ◎時給 1090円 ◎時間 午前8時～午後7時 ※時間内でシフト制 ◎待遇 社会保険完備・交通費規定支給・車通勤可など

お問い合せは、生活福祉課まで。 ☎72-7661

お問い合せは、生活福祉課まで。 ☎81-7717-807

農用地の広告物設置にご注意を 看板などの屋外広告物の設置は「秦野市屋外広告物条例」で規制されています。市内の生産緑地や農業振興地域の農用地は、屋外広告物を設置できない「禁止地域」に指定されていますので、ご注意ください。

JA農機ハウスローン

農業のユキ育みます

- 応援1 軽トラックの購入にも!
- 応援2 農業機械の購入にも!
- 応援3 ハウスの建設にも!
- 応援4 作業所・倉庫の設置にも!

JAグループ神奈川応援プログラム

利子補給事業

JAが取り扱う全ての農業資金(公庫資金を除く)について、最大1.0%(最長10年)の利子補給を行っています。

補給率 最長10年 最大 **1.0%**

保証料助成事業

JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いたします。

実質保証料 **0円**

詳しくは 各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

休日ローン相談会

ご来場の方に記念品を進呈

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでもお気軽にご相談ください。

10月8日(土)

午前9時～午後4時 本所農業団地センター

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前予約をお願いします

融資課 ☎0120-954-093 ホームページ「休日ローン相談会」から予約可!

JAはだの 🔍 検索

※感染症などの状況により、中止になる可能性があります。開催状況はJAはだのホームページをご確認ください。

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
秋暑し敬語わすれてしまいたる

高島美和子(名古屋)
温暖化初水揚げの瘦せさんま

吉田 清美(渋 沢)
地下壕の静寂に生きてかまどうま

菊池としえ(菩 提)
初秋刀魚わが人生のほろ苦し

志賀 明子(千 村)
厄日過ぐ地上に平和の鐘をきく

芦川 八 沢
揺るるたび混じりあいたり秋桜

石原 松枝(渋 沢)
超高値さんまのプライド高くなる

石田 陽子(ひばりヶ丘)
鳴鳴くや早起きの子にお弁当

高橋 順子(大秦町)
値の高き秋刀魚に手出し出来ぬ猫

柳川みち子(栄 町)
海匂ふ迎ればさんまに行き当る

佐藤英美子(南矢名)
みさき馬肥え来なつ瘦せ無き如く

森高 由子(渋 沢)
戦火では焼けぬ高値の秋刀魚かな

〈短歌〉(久保寺 富男 選)
ふるさとに我を知る人誰もなく

山川懐かし蝉しぐれふる

評 100歳越えの作者にして読める歌。
故郷の山川は変わらないのに、知り人
はいなくなつてしまつた。蝉しぐれを
聞く心に初秋の風が染みる。

今井 かつみ(羽 根)
柵沿いの草刈り終えしゲートポール場

安居院輝雄(上大槻)
広々となりて秋茜飛ぶ

八木 実(鶴巻北)
草刈り機うならせはびこる葛刈れば

東風を背中に受けて草むしる

水落美和江(鶴巻南)
無心になれる好きなしと時

伊東 久(渋 沢)
猛暑にも生垣彩る百日紅

伊東 久(渋 沢)
真夏の通りにほつとひといき

細田 富士(千 村)
みちのくの球児悲願の優勝旗

石田こずゑ(水神町)
枝伸ばし早く刈つてと風に言ふ

夫やれやれと鉄持ち出しぬ

ここに生れ此処にし果てむ山なみの

農作業事故ゼロへ

10月31日まで秋期安全運動

JAはだのは10月31日 全標語を記載した看板を
(月)まで、農作業事故 設置しています。
撲滅に向け、秋期農作業 農業従事者の高齢化
安全運動を実施していま により、農作業中の傷
す。期間中は、来所者に 害事故が全国的に増加傾
注意を呼びかけるため、 向です。市内では昨年度
本所と各支所に農作業安 13件、今年度は6月末現
在で5件の労災申請事故
が発生しました。
農業機械を使用する前
には整備や作業点検を必
ず実施し、小まめに休息
を取るなど、事故防止に
努めましょう。



農作業安全標語で注意を促す看板

農業まつり今年も簡素に

品評会など表彰式中心

11月19日(土)、20日(日)に開催を予定してつりは、新型コロナウイルス
11月19日(土)、20日(日)に開催を予定してつりは、新型コロナウイルス
ルスの感染状況が落ち着
かないことなどから、次
の内容に変更させていた
だくこととしました。
感染症対策を徹底した
上で、市主催の農産物品
評会の他、書道・図画・
作文コンクール(作品展
示(一部入賞作品だけ)
および表彰式などを催し
ます。

今年も例年通りの開催

家の光 今月の新刊

エハラ家の楽しすぎる
ホットプレートごはん
エハラマサヒロ 著
江原千鶴 著
一家7人の日常を紹介
するユーチューブが人気



税務相談日 10月11日(火)
午前9時30分～
法務相談日 10月20日(木)
午後1時30分～
場所 本町支所
予約制です。事前にお電話にてご予約をお願い
します。受け付け順に相談時間が決まります。
ご予約は協同コンサルトはだの
81-2329

のエハラ家のホットプレ
ートレシピ。下準備と洗
い物が少なくみんまで作
って食べられると魅力が
いっぱい。たこ焼きにギ
ョウザ、クレープやパエ
リアと盛りだくさん。
定価1650円(税込)

そのとき、日本
は何人養える?
食料安全保障から
考える社会のしくみ
篠原信 著

海外から食料や石油な
どの輸入がでなくなつ
たら、国内の生産力では
3000万人分の食料し
か作れない。日本は今後、
国民をどう養っていくの
か、食料安全保障を問
います。

74歳横山タカ子の
体にいいごはん
ラクに作れる
献立とおかず
横山タカ子 著

信州に暮らす料理研究
家が教える、いつまでも
元気でいられる食事の秘
策。主菜と副菜を1品に
まとめたり、作りおきを
活用したり、横山流「一
汁三菜」で日々の献立が
簡単に。
定価1760円(税込)

酸っぱくない お酢
料理 レモン料理
毎日食べて
きれいになる
藤井恵 著

日々酢を摂取すること
で、疲れにくい体になつ
たと実感する藤井恵さん
によるまるやかな味わい
のお酢レシピ。酸味が苦
手な人でも食べられる。
減塩やお肉を柔らかくす
る効果も。
定価1650円(税込)

とならず大変残念です
が、組合員や地域の皆さ
まの、健康と安全を最優
先に考えた対応ですの
で、ご理解をお願いしま
す。

なお、農産物品評会の
開催日程や実施内容など
の詳細は、来月号の機関
紙「JAはだの」に掲載
する予定です。

おめでとうございま
す。末永くお元気で過ご
してください。

88歳(米寿)
▽本町地区 川口美恵
子(幸町) 遠藤里子(曾
屋)

77歳(喜寿)
▽大根地区 小野田哲
之(鶴巻南) 深川ヨシ子
(鶴巻南)

▽西地区 石原キヨ子
(渋沢)

※自己申告ですので、
該当の方は誕生月の前月
末までに各支所・支店に
ご連絡ください。

根菜と手羽元で簡単煮物

大根支部 渡辺 敏子さん



■材料(2~3人分)■

鶏肉(手羽元)4本、
シメジ1/3株、サツ
マイモ80g、ニンジン
1/2本、レンコン60
g、ゴボウ100g、シ
ョウガ適量、オクラ4本、塩こしょうパウダー6
g、A(水250cc、日本酒大さじ2、砂糖大さ
じ2、しょうゆ大さじ2、鶏ガラスープのもと
大さじ2)

<作り方>

- ①手羽元にフォークで穴を開け、塩こしょうパウ
ダーを振りかけて15分ほど置く。
- ②サツマイモは皮付きのまま、ニンジン・レン
コン・ゴボウは皮をむいて大きめの乱切りに
する。
- ③ショウガは薄切りして5枚分を使う。シメジ
は石づきを取って小房に分ける。
- ④オクラはへたを落とし、塩で板ずりして洗う。
- ⑤炊飯器に①、②、③を入れる。Aを混ぜた調
味料を入れて炊く。
- ⑥炊いたらオクラを入れ、10分蒸らして完成。

<ひとことアドバイス>

3~5合の電気炊飯器で作れます。調味料の
量はご家庭の味に合わせて調整してください。
砂糖はきび砂糖など、お好みの種類を使つてく
ださい。

▽西地区 大森たつゑ

24時間受付OK! 下記のホームページでは インターネットで かんたん事前審査申し込み!!
*正式審査のお申込みは、JA窓口でお手続きが必要です。
マイカーローン 教育ローン リフォームローン
1 JAはだの ホームページにアクセス
2 サイト内の 下記バナーをクリック
3 必要事項をご入力 事前審査結果は Eメールにてご連絡いたします。

募集 JA正職員

応募資格 2023年3月に大学または短大を卒業予定の方、
あるいは卒業後3年以内の方
募集人員 若干名
職種 JA業務全般に携われる方(総合職)
応募受付期間 10月7日(金)午後5時まで
応募方法 マイナビ2023のウェブサイトで「JAはだの」と検索して
ください。右記QRコードからもアクセスできます。
お問い合わせ先 〒257-0015 秦野市平沢477番地
秦野市農業協同組合 総務課
TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分~午後5時)

JA運営にご意見を

ご意見・ご要望は書面・メールで

今年度の「秋の座談会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前回は引き続き、組合員の皆さまのご意見・ご要望を、書面・FAX・メールで受け付けます。

●受付方法:

①任意の紙に必須項目(住所・氏名・連絡先)と意見・要望を記入し、各支所・支店・本所(組織教育課)に直接提出。または組織教育課までFAX(84-1856)で送信。※今回から専用の紙は配布していませんので、ご注意ください。

②QRコードを読み取るか、専用メールアドレス(soshiki-iken@hdn.kn-ja.or.jp)宛てにメールを送信。

●期日:10月7日(金)まで

●お願い:回答に必要となるため、住所や氏名を必ず記入・入力
※2022年度上半期の事業報告などについては、本号に掲載いたします。

秋の座談会特集号の発行に当たって

代表理事組合長 宮永 均

JAはだの、さらなる地域農業振興と協同組合運動の躍進に向け、運営基本構想に基づく中期経営計画、地域農業振興計画、年次計画を策定し、組合員主役の民主的なJA運営に努めています。その計画策定と役割発揮のために、座談会で組合員皆さまのご意見やご要望をお伺いすることが極めて重要です。

しかし、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、リスクを回避しなければならないという大きな課題もあります。各地域で座談することを計画していましたが、皆さまの健康と安全を第一に考え、FAXやメールなどの書面によりご意見・ご要望をお受けすることにしました。

誠に残念な変更ですが、ご案内させていただきました方法により、JA組織・事業運営などについて、皆さまが日頃感じられていることを忌憚(きたん)なくご発信いただきますようお願い申し上げます。



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 株式会社JA情報サービス

上半期の主な軌跡

6月 June

- 花き部会が、日本赤十字社にヒマワリ500本を提供しました。県赤十字血液センターの「はなさか献血キャンペーン」のために用意。県内の献血バスや献血ルーム合わせて10カ所、部会員が丹精して育てたヒマワリが配られました=写真。
- 県内の畜産物と酪農家を応援しようと、じばさんずで「父の日フェア」を開催しました。ミルクが定めた6月の「牛乳月間」に合わせて「父の日」と「乳(ちち)の日」をかけて実施。2000円以上買い物した来店者を対象に、県西部地区などの生乳を使った「柳川牛乳」1000パック(1パック200ml入り)を配布しました。



3月 March

- 女性部が、コロナ禍でも安心して活動できるよう「体調管理チェック帳」を作成しました。チェック帳は、日付け記入欄の他、体調やのどの痛み、体のだるさなど八つの項目を記載。365日分の健康状態を記入することができるため、年間を通して活用できるものになりました。
- 2022年度新採用職員11人が、秦野市農業経営士会の協力で農業実習を行いました。農作業を体験するとともに、経営士の農業に対する思いを直接聞き、理解を深めました=写真。



7月 July

- 秦野市農業経営士会が「新規就農者を励ます集い」を開きました。県や市、青年部などから22人が出席し、新たな農業の担い手3人にエールを送りました。集いは1985年にスタートし、これまでに今回を含めて106人の新規就農者を激励してきました。
- はだの都市農業支援センターが取り組む観光農園事業「はだの農業満喫CLUB」で、トウモロコシの収穫体験を開きました。市内外からの参加者27組81人が、実が黄色い「ゴールドラッシュ」と白い「雪の妖精」の2品種を収穫しました=写真。



4月 April

- ジェラート店「Sun's Gelato (サンズジェラート)」をオープンしました。じばさんずの隣に店舗を構え、季節ごとに旬の地産農産物を使ったジェラートを販売。家族連れを中心とした幅広い世代に、農産物の魅力を発信しています=写真。
- 青年部が、弘法山展望所付近に植え付けたネモフィラが満開を迎えました。「花いっぱい運動」の一環で取り組んだもので、花畑は、写真撮影やハイキングで訪れた多くの来場者でにぎわいました。



8月 August

- 第59回創立記念式を開きました。協同組合顕彰基金により、組合の事業発展のために貢献した組合員2人を表彰し、同基金への多大な支援をした組合員1人に感謝状を贈りました。今年は出席人数を制限して3年ぶりに開催しました。
- 組合員基礎講座の受講者が、小田原市の尊徳記念館を視察しました。協同組合の原点である「報徳仕法」を広めた二宮尊徳や、秦野市にゆかりのある安居院庄七の生涯について学習しました=写真。



5月 May

- 第59回通常総代会をクアーズテック秦野カルチャーホール大ホールで開催しました。本人・代理人出席と書面議決合わせて556人の総代が、第六次中期経営計画の設定や2022年度事業計画の設定についてなど、上程した全6議案を審議し可決しました。
- 今年度の「ちゃぐりんスクール」を開校しました。市内の小学4~6年生20人が参加して(一社)家の光協会発行の月刊誌「ちゃぐりん」を活用した工作と、JAの施設見学を行いました=写真。

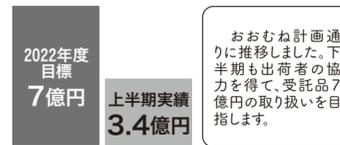


JAはだの自己改革工程表進捗状況

農林水産省の監督指針の見直しにより、自己改革の継続的な取り組みが制度化され、総代会で農業所得につながる具体的方針や組合員の意思反映方針などを提起することが求められるようになりました。JAはだの2022年度事業計画で自己改革工程表を提起し、重点項目を掲げました。その進捗(しんちよく)状況を報告します。

農業者の所得増大・農業生産の拡大

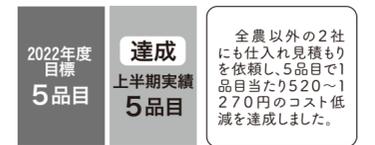
●じばさんずの取扱高維持(受託取扱高)



●生産者買取の拡大(生産者買取販売高)

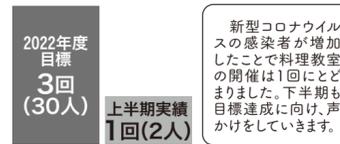


●仕入れ強化による生産資材の価格低減

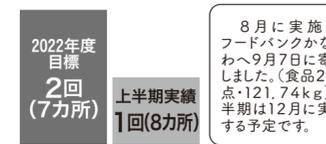


地域の活性化

●ふるさとの味伝承活動の展開



●フードドライブ活動の実施



●経営基盤の確立・強化

第1次再編として、鶴巻支店と上支所の渉外・融資・遺言信託を大根支所・西支所へ移管しました。これにより鶴巻支店と上支所はコミュニティ店舗としてスタートしました。

※コミュニティ店舗とは
金融店舗としての機能を維持しつつ、渉外・融資・遺言信託を基幹店へ集約し、その他の業務・貯金・為替・投信・共済・組織活動を行う店舗です。

JAはだの「第四次地域農業振興計画」骨子(案)について

1 策定にあたって

JAはだの、中長期的にわたって取り組む事項を整理するため、3年ごとに「中期経営計画」を、5年ごとに「地域農業振興計画」を策定し、これらの計画を基礎に単年度ごとの事業計画を具体化して実践しています。今年度が「第三次地域農業振興計画」の最終年度であるため、来年度以降の5カ年(2023~27年度)に向けた「第四次地域農業振興計画」の策定を進めています。

●耕地面積に占める有機農業の取り組み面積の割合を25%(100万ha)に拡大

2 計画策定の考え方

2022年度から実践している「第六次中期経営計画」で、JAの使命として「次代につながる秦野農業」「農業者の所得増大」「豊かな暮らしづくり」を3本の柱として掲げています。この使命を果たすための重点実践計画として「持続可能な地域農業の確立」「地産地消を中心とした販売力強化」「相談機能の強化と総合事業の積極展開」「持続可能な経営基盤の強化」に取り組んでいます。「第四次地域農業振興計画」では、これらの重点実践計画の中から特に地域農業の振興に関係する「持続可能な地域農業の確立」「地産地消を中心とした販売力強化」について、具体的な取り組み方針を示すと共に「消費者と共生できる都市農業の推進」についても方向性を示していきます。

さらに、みどりの食料システム戦略への取り組み方針や、農業生産のコスト上昇への対応についての考え方など、農業を取り巻く情勢の変化に対応したJAとしての考え方を整理していきます。

参考 みどりの食料システム戦略とは

農林水産省は、農林水産業を取り巻くさまざまな課題を踏まえ、農林水産業や地域の将来を見据えた、持続可能な食料システムを構築しようと、「みどりの食料システム戦略」を策定しました。食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーション(技術革新)で実現することによって、2050年を最終目標に、2030年・2040年と10年ごとに取り組み目標が示されています。農業分野では、次のような目標が掲げられています。

【2050年までに目指す姿から抜粋】

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
- 低リスク農業への転換、総合的な病害虫管理体制の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により、化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減
- 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減

地域農業振興計画の骨子 概要

JAはだの基本方向

基本理念 夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域でできずく

JAの使命①:次代につながる秦野農業
JAの使命②:農業者の所得増大
JAの使命③:豊かな暮らしづくり

第六次中期経営計画 重点実践計画

基本目標①	基本目標②	基本目標③	基本目標④
持続可能な地域農業の確立	地産地消を中心とした販売力強化	相談機能の強化と総合事業の積極展開	持続可能な経営基盤の強化

みどりの食料システム戦略への対応

第四次地域農業振興計画 骨子

骨子①	骨子②	骨子③
持続可能な地域農業の確立 ・営農指導の充実 ・多様な担い手の確保・支援 ・農地周辺環境における課題の整理と対応策 ・コスト削減と環境負荷に配慮した生産支援	地産地消を中心とした販売力強化 ・じばさんずの販売拡大 ・買取販売の拡大 ・学校給食への農産物の安定供給	消費者と共生できる都市農業の推進 ・地域住民との共生に向けた取り組み ・都市農業ならではの多面的機能の発揮

農林水産省の「みどりの食料システム戦略」の説明動画は、こちらのQRコードから視聴できます。



豊かな社会を協同の力で!



2022年度上半期の状況

JAはだののすがた

●2022年8月31日現在 ●かっこ内は前年同期実績
●数字は単位未満切り捨て

11 万一に備えての共済

●次世代・ニューパートナーへの取り組み

長期共済新契約高

170億3千万円 (207億8千万円)

長期共済保有高

4,061億7千万円 (4,178億3千万円)

上半期に支払った事故共済金額

891件 6億9千万円
(761件 8億円)

生命	580件	5億5千万円
	(441件)	(6億3千万円)
建物	58件	1千万円
	(105件)	(6千万円)
自動車	252件	1億2千万円
	(215件)	(9千万円)
その他	1件	

12 活動のみのり

上半期剰余金

2億円
(2億3千万円)



13 (株)協同コンサルトはだの

- マイホーム・アパートなどの建設の支援
- 入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん

入居率

97.5% (97.4%)

※入居率はJA系統の管理会社2社の数値です。

8 共同施設の利用

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と多様化する葬儀形態への対応を両立した葬儀

全体の取扱高

1億4千万円 (1億7千万円)

主な施設の取扱高

- JAセレモニーホールはだの
- 101件 1億4千万円
(123件 1億6千万円)

9 便利で安心 JAバンク

- 投資信託による資産形成サポート
- 資産活用や相続にかかる不安・悩みに対する資産相談
- 年金相談会の開催
- 特殊詐欺被害の未然防止に向けた取り組み

貯金残高

2,385億6千万円
(2,351億9千万円)

10 農業・生活・事業資金などの融資

- 農業振興に必要な資金対応
- 農業資金の新規取り扱い 9件 1,299万円
- 生活・事業などの資金対応
- 貸出担当者による農業者訪問

貸出金残高

422億4千万円
(423億1千万円)

6 健康と福祉の取り組み

- 「JA健康寿命100歳プロジェクト」の展開
- 団体人間ドック受診の呼びかけ
- 健康福祉大会を開催し「フレイルとその対策」についての講演を実施

▶長寿記念品の贈呈者数

69人 (76人)

▶人間ドック受診者数

251人 (249人)

7 生産資材・生活物資の安定供給

- 生産資材を安価で供給する店舗キャンペーンの実施
- 予約購買の基幹品目である新茶と県産飲料の普及

全体の供給高

12億7千万円 (13億3千万円)

生産資材	5億6千万円	(5億6千万円)
生活物資	7億円	(7億7千万円)

4 営農事業の取り組み

●営農指導の充実

- 販売TAC担当者による訪問活動や営農指導係による相談対応
- 第四次地域農業振興計画の策定に着手

●はだの都市農業支援センターとの連携

- 「はだの農業満喫CLUB」への加入促進 (メール配信システム登録者数571人)
- 鳥獣被害の防止に向け「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用した補助を実施

- 青バパイヤの特産化へ向け、研究会を立ち上げ活動を開始



5 安全・安心な農産物の供給

- 「はだのじばさんず」を拠点とした新鮮で安全・安心な農産物の供給
- 買い取り販売の拡大と中学校給食への農産物の安定供給

「はだのじばさんず」の利用状況

利用者総数 24万人 (24万人)

1日当たりの利用者数 1,366人 (1,367人)

取扱高 5億円 (4億8千万円)

1日当たりの取扱金額 274万円 (268万円)

全体の取扱高

9億1千万円 (9億4千万円)

1 みんなの仲間

組合員数 14,397人 (14,433人)

内 正組合員数 2,790人 (2,835人)

訳 准組合員数 11,607人 (11,598人)

組合員戸数 11,966戸 (11,984戸)

内 正組合員戸数 2,196戸 (2,222戸)

訳 准組合員戸数 9,770戸 (9,762戸)

2 資本の状況

資本の合計

159億9千万円 (157億円)

内 出資金 16億5千万円 (16億7千万円)

訳 準備金・積立金他 143億4千万円 (140億3千万円)

単体自己資本比率 (2022年2月28日現在)

15.8% (国の基準4%以上、JAバンク自主基準8%以上)

※資本は、貸借対照表の「純資産」のことです。

3 組織活動、教育広報の充実

- 協同組合講座を開講し、「みどりの食料システム戦略」や「スマホ教室」など社会情勢に合わせたカリキュラムを導入
- 小学生を対象にした「ちやぐりんスクール」を開校し、農家の協力で食農教育を推進
- ホームページやInstagramを活用した情報の発信
Instagram配信回数29回
- 農政活動の取り組みとして市長らに農林業施策・予算要望書を提出